

第 5 回デジタル人材推進協議会
デジタル人材育成の取組及び必要性について

滋賀大学の特色ある産学連携での教育事例並びに
教育学部及び経済学部でのデータサイエンス教育の取組について

概要説明

令和 8 年 3 月 3 日



SHIGA UNIVERSITY

滋賀大学



滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センターによる産業界向け人材育成の三本柱

- 大学院(修士/博士)社会人派遣院生
- **企業/業種向けカスタマイズ人材育成**
- オンライン教材作成・提供

カスタマイズ人材育成

- トヨタグループデータサイエンス実践道場
- 日野データサイエンス塾
- 東海旅客鉄道株式会社向け人材育成
- 阪神電気鉄道株式会社向けデータ活用による課題解決アプローチ実践研修
- 医薬品・医療機器メーカー向けデータサイエンス人材育成プログラム

トヨタグループデータサイエンス実践道場 班の構成

- 師範2名：初年度は滋賀大学教員のみ
- 師範代2名：ドメイン知識・現場事情提供
- 入門生数名：各々現場の課題を持参して参加
 - 修了生は次年度以降、師範・師範代を担当

方式

- 毎月の指導会での指導
 - 他の入門生への指導も参考になる
- 最終発表会

拡大

- 規模：初年度4班⇒25班
- 参加企業：トヨタグループ⇒関連会社も
- 参加大学：滋賀大学のみ⇒4大学



大学院社会人派遣院生

- 長期履修制度
- 博士前期課程の講義は1講義/1週の集中講義
 - 履修しない講義の週は職場に戻ることも可能
- 講義・ゼミともオンライン受講可
 - 遠方在住のまま修了も可能
 - 登校しての”横の繋がり”も重要

社会人入学状況

入学者数/定員 (企業・国・自治体等からの社会人入学者数)

	博士前期	博士後期
2019	23/20(19)	—
2020	24/20(15)	3/3(1)
2021	43/40(14)	3/3(2)
2022	46/40(17)	5/3(2)
2023	50/40(20)	3/3(0)
2024	53/50(19)	4/3(1)
2025	82/80(23)	6/3(1)

オンライン教材作成・提供

オンライン講義動画

- 大学生のためのデータサイエンス1
- 大学生のためのデータサイエンス2
 - 機械学習編
- 大学生のためのデータサイエンス3
 - 問題解決編
- 大学生のためのデータサイエンス4
 - データ研磨編

ハンズオン教育プログラム

- DX人材育成のためのPythonを用いた予測分析



プログラムの目的・特色

特色① 国内最大規模のデータサイエンス (DS) 教育研究拠点

- ・全国に先駆けた本格的なデータサイエンス教育の実績 (平成29年度…データサイエンス学部、31年度 データサイエンス研究科)
- ・リテラシーレベル教育の全学的展開 (R3.8.4 **リテラシープラス選定**)
→全学生にデータサイエンスリテラシーの素養 (令和4年度より全学必修化)
- ・リテラシーレベル教育の基盤の上に、各学部の専門性に応じた応用基礎レベル教育の提供
→R4.8.24 **全学部応用基礎レベル認定** (データサイエンス学部はプラス選定)
- ・「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」拠点校 (国立大学のうち11校)

特色② 各学部の専門性に応じたプログラム

- データサイエンス学部→**全学部生が履修**、選択項目群もカバーする最先端の内容
- 教育学部→「教育データサイエンティスト養成プログラム (令和2年度開始)」との連携
- 経済学部→「データサイエンス副専攻 (平成29年度開始)」との連携

特色③ 多数の民間企業等と連携し、実データを用いた分析や演習

特色④ MOOC教材の全国無料配信、他大学への教材提供

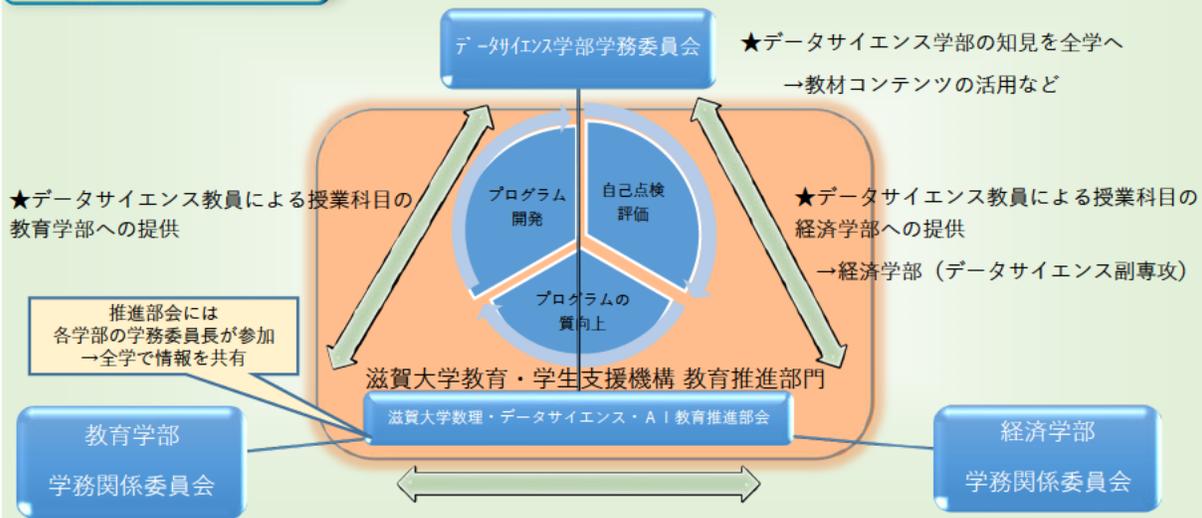
育成イメージ

**数理・DS・AI教育の全学的展開
→全学部で応用基礎レベル教育を推進**



実施体制

全学 教育・学生支援機構に設置の推進部会で点検・評価



カリキュラム

★修了要件 (データサイエンス学部)

14科目全て必修。「基礎科目群」から7科目14単位、「専門科目群」から7科目14単位、合計28単位を修得すること。

★修了要件 (教育学部)

基礎科目群から3科目6単位、専門科目群から2科目4単位、演習科目群から1科目2単位以上、合計12単位以上を修得すること。

★修了要件 (経済学部)

基礎科目群から3科目6単位以上、専門科目群から3科目6単位以上、合計12単位以上を修得すること。

応用基礎レベル修了生 198名 (教育:7名 経済:13名 DS:178名)

※令和7年春学期時点

令和7年度からは生成AIの応用に関する内容を追加し、データサイエンス・AI教育を更に強化



【経済×データサイエンス】プログラム 経済学研究科経営分析学専攻(MBAN)

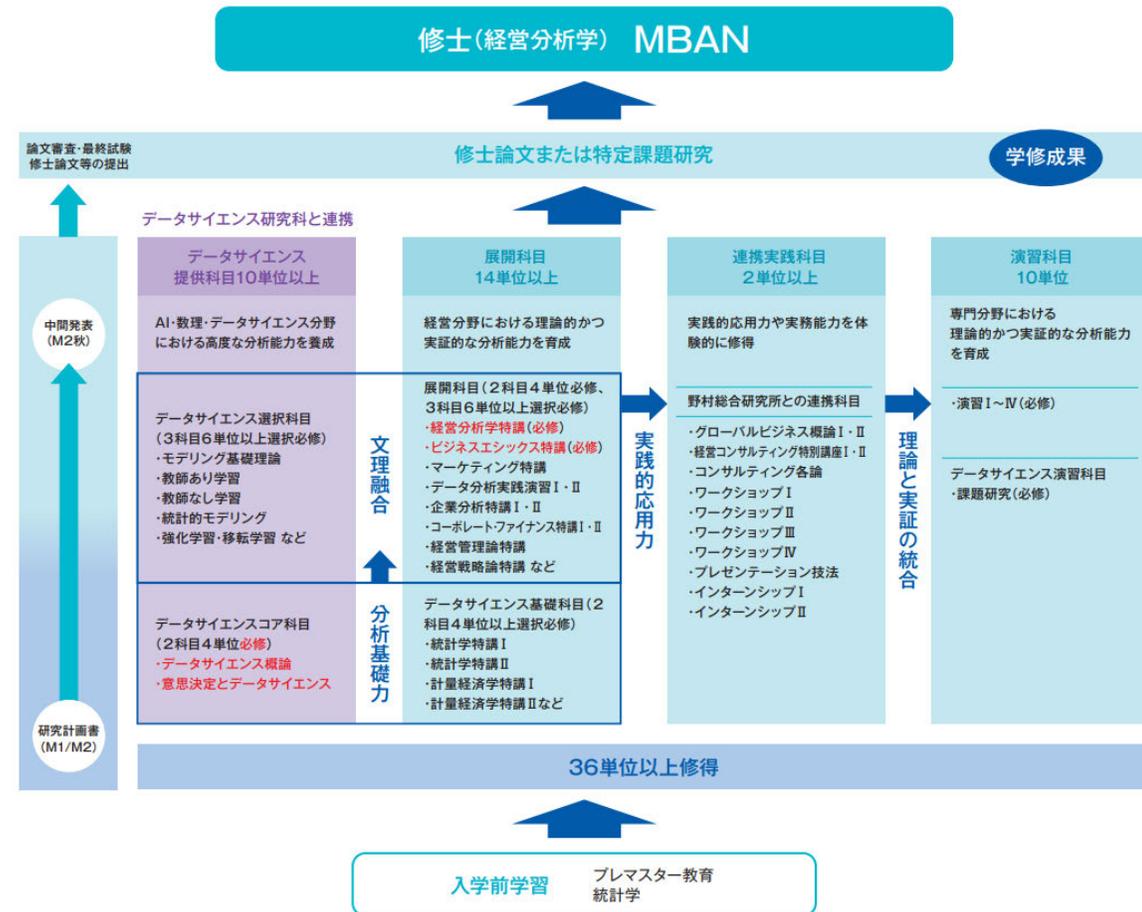
企業が求めるデータ活用力を備えた経営人材の育成
DXの進展により、経営企画・マーケティング・人材マネジメントなど文系領域でもデータ分析スキルが必須

日本初の学位「修士(経営分析学)」を設置(令和6年4月)
経済・経営の専門知識に、データサイエンスの実践的スキルを融合
⇒“経営×データ”を二刀流で扱える高度人材を育成

プログラムの特徴

- ①経営判断に直結するデータ分析(需要予測・財務データ解析等)を実践
- ②文理を問わず学べる体系的カリキュラム
- ③企業のDX推進部門・経営企画などあらゆる分野で活躍可能

今年度に第1期修了生輩出予定





【教育×データサイエンス】プログラム

教職大学院教育データサイエンス人材育成プログラム

教育現場に広がる“データ活用ニーズ”に対応

学習ログ・校務データ・評価情報など、教育のあらゆる場面でデータに基づく指導・学校運営の需要増加

教育データサイエンス実践学のエキスパート育成

令和6年4月に開始した新プログラムでは、教育データの分析・活用を専門的に学び、教育現場で実践きる人材を養成

プログラムの特徴

- ①所定単位を修得することで専修免許状に「教育データサイエンス」を付記（滋賀県教育委員会）
- ②データに基づく校務改善や個別最適化学習に貢献できる人材を育成

今年度に第1期修了生輩出予定

概要

Data Science

データサイエンス研究科

データサイエンス・
AIイノベーション
研究推進センター

データサイエンス研究科との連携
教育データサイエンスの理論から実践
に至るカリキュラム

Education

教職大学院

滋賀県教育委員会と連携
教職大学院での高度な専門的知識・技能
および実践的指導力の獲得

